

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	2単位	必修
担当教員			
田川 千秋 (宮元 預羽)			

講義概要	多種多様な障害のある利用者に対して、様々な手法の生活援助技術を用いて、安全に援助できる知識・技術を習得できる		
授業計画	1	心臓機能障害に応じた生活支援技術 心臓機能障害のある人の理解と生活支援 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	2	心臓機能障害に応じた生活支援技術 心臓機能障害のある人の理解と生活支援 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	3	腎臓機能障害に応じた介護 腎臓機能障害のある人の理解と生活支援、介護技術	
	4	呼吸機能障害に応じた介護 呼吸機能障害のある人の理解と支援方法 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	5	呼吸機能障害に応じた介護 呼吸機能障害のある人の理解と支援方法 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	6	膀胱・直腸機能障害に応じた介護 膀胱・直腸機能障害の特性と支援方法及び留意点	
	7	肝臓機能障害に応じた介護 肝臓機能障害の特性と、その支援方法及び留意点	
	8	精神障害に応じた生活支援技術 精神障害者の特性や生活の理解、生活支援方法	
	9	精神障害者に対する介護技術の展開と他職種との協働と連携	
	10	障害をもつ利用者の状態、状況に応じた生活支援技術とは。 社会福祉士及び介護福祉士の定義の変遷と利用者のニーズについて	
	11	視覚障害に応じた介護 視覚障害のある人の生活の理解および支援と環境整備	
	12	視覚障害者に対する介護技術の展開と他職種の役割と協働・連携 社会資源の利用・視覚障害のある人の生活（演習）	
	13	聴覚障害に応じた介護 聞こえの障害・聴力検査・補聴器について	
	14	聴覚障害者に対するコミュニケーションと支援	
	15	言語障害とは 言語障害のある人の特徴および配慮	
	16	聴覚障害および言語障害のある人の生活 演習	
	17	重複障害（盲ろう）に応じた介護 盲ろう者と生活の理解および介護技術の展開 他職種との役割と協働、連携（演習）	
	18	運動機能障害に応じた介護 運動機能障害と道常生活動作（ADL）	
	19	運動機能障害のある人の生活支援（1） 運動器疾患による障害と支援	
	20	運動機能障害のある人の生活支援（2） 神経・筋疾患による障害と支援（演習）	
	21	知的障害に応じた介護 知的障害のある人と生活の理解・心理的理解・医学的理解 他職種の役割と協働・連携	
	22	知的障害のある人に関わる上での留意点 知的障害者の地域生活における課題および演習	
	23	障害者に関する法律と相談支援事業	

	24	高次脳機能障害に応じた介護 高次脳機能障害のある人と生活の理解
	25	高次脳機能障害のある人の残存能力の拡大およびネットワークづくりと介護技術の展開（演習）
	26	発達障害に応じた介護 発達障害の特性と個別支援計画および介護技術の展開
	27	発達障害のある人に対する他職種の役割と協働、連携
	28	重症心身障害に応じた介護 重症心身障害のある人の生活の理解と支援 介護技術の展開および連携と協働（演習）
	29	終末期の介護 終末期ケアの意味と理念
	30	終末期における介護技術 終末期の介護における他職種の役割と協働、連携
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①内部障害・精神障害の理解と生活支援について理解できる ②視覚・聴覚・言語障害等の理解と生活支援について理解できる ③知的・発達障害、高次脳機能障害等の理解と生活支援について理解できる ④障害に応じた生活支援技術とは何か、について説明できる ⑤終末期について考え、その生活支援について理解できる	
教科書・参考書	テキスト：新介護福祉士養成講座7『生活支援技術Ⅱ』第3版 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 新介護福祉士養成講座8『生活支援技術Ⅲ』第3版 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業終了後	
備考・メッセージ		